

文書識別番号	文書名 商品名称	納入仕様書 DC/AC インバーター	改定No. 頁	1/5
--------	-------------	-----------------------	------------	-----

御中

要返却

## 納入仕様書

製品名	DC/AC インバーター
型番	SKY-DA152-100V
型番	SKY-DA302-100V
型番	SKY-DA502-200V

おことわり:改良の為予告なく変更いたします、御了承願います



ご承認印蘭

株式会社スカイ電子

作製年月日	検印	作成
2014年 02月 10日	oota	tanaka

文書識別番号	文書名 商品名称	納入仕様書 DC/AC インバーター	改定No. 頁	2/5
--------	-------------	-----------------------	------------	-----

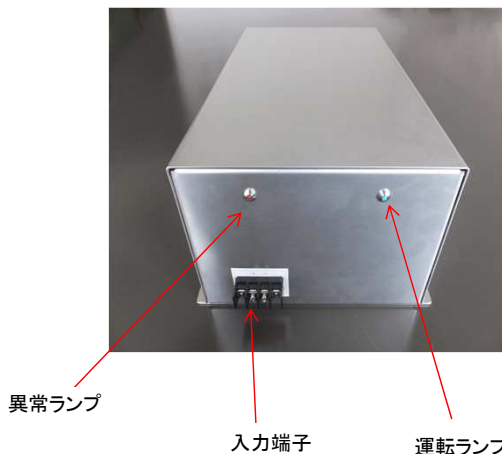
**1. 概要** 本装置は風力発電装置及び水力発電装置にの独立電源として使用する為のDC/ACインバーターです  
 一般市販の低電圧蓄電池用のDC/ACインバーターは多数出回っていますが、マッチングに不具合が多く安定した使用が困難でした  
 そのため、風水力発電装置の発電機メーカーである弊社はマッチング性に優れたDC/ACインバーターを開発することにしました

**2. 定格事項、特性**

		SKY-DA152-100	SKY-DA302-100	SKY-DA502-200
出力	周波数	50Hz/60Hz		
	交流出力	正弦波		
	定格電圧	AC100V	AC100V	AC200V
	定格電力	1500W	3000W	5000W
	最大電力	2000W	3500W	5500W
入力	無負荷電流	0.1(A)以下		
	入力電圧範囲	DC132(V)~DC188(V)	DC132(V)~DC188(V)	DC264(V)~DC376(V)
	ヒューズ	30(A)		
保護動作	負荷短絡保護	入力電流12(A)以上で保護	暫定 入力電流24(A)以上で保護	暫定 入力電流24(A)以上で保護
	過電流保護	入力電流10(A)以上で保護	暫定 入力電流20(A)以上で保護	暫定 入力電流20(A)以上で保護
	過電圧保護	入力電圧188(V)以上で保護	入力電圧188(V)以上で保護	入力電圧376(V)以上で保護
	低電圧保護	入力電圧132(V)以下で保護		
	強制空冷ファン	放熱フィン 内部温度50(°C)以上で回転します 内部温度に応じた風量を確認します		
	蓄電池ご接続保護	蓄電池の極性を間違えた場合の破壊を防止		
	ウォッチドッグリセット	コンピュータの偶発的な暴走時対策		
	運転停止	運転停止SWオフで強制リセット(再起動は負荷を取り除いた状態でオンして下さい)		
変換効率	85(%)以上			
運転開始	入力電圧DC12(V)以上で自動的に待機モードとなりスタートスイッチの投入で運転開始となります 初回立ち上げ時のみ入力電圧30(V)以上でDC/ACを開始します(以後132(V)以下で低電圧保護がかかります)			
動作温度範囲	-10(°C)~50(°C)(ただし結露しないこと)			
動作湿度範囲	80%以下			
寸法	200mm×335mm×145mm	200mm×335mm×145mm	230mm×335mm×145mm	
重量	kg	kg	kg	
絶縁抵抗試験	DC500V、100MΩ以上		DC500V、100MΩ以上	
絶縁耐圧試験	AC1500V、リーク1mA以下、1分		AC1500V、リーク1mA以下、1分	

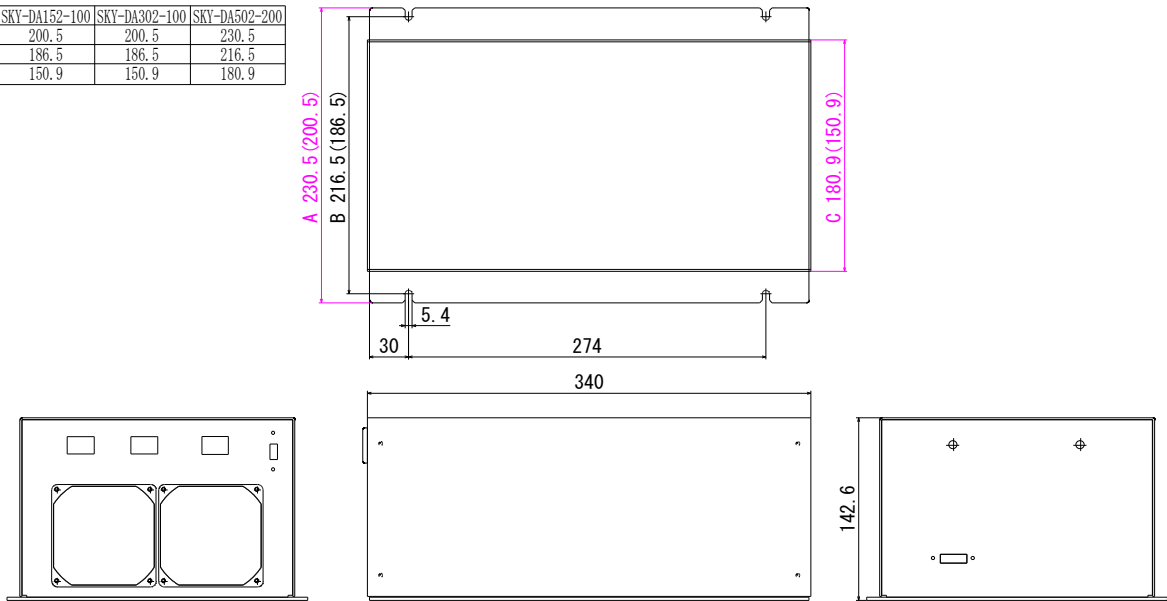
注意: Serial No-001 は保護動作未対応項目があります(納品時説明)

注意: ケースカバーの分解は禁止しています絶対に分解しないでください。無理に分解したら内部結線が切断し  
 壊れる構造です、どうしても分解する場合は弊社米子研究所で決まった手順でないと分解できません  
 又、内部は高電圧が長時間残留していますから、非常に危険です(安全上、分解禁止の構造にしています)



### 3. 外形図

	SKY-DA152-100	SKY-DA302-100	SKY-DA502-200
A	200.5	200.5	230.5
B	186.5	186.5	216.5
C	150.9	150.9	180.9



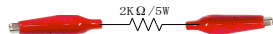
### 4. 参考(使用方法)

#### (1) 蓄電池接続

リセットSWを必ずオフにしてください(蓄電池接続後にリセットSWをONにします)

要注意(重要) 蓄電池端子と蓄電池ユニットを接続する場合、大きな突入電流で端子部を焼損してしまいます

① みのむしクリップ治具作成 以下の様な方法で接続するため、あらかじめ蓄電池接続用の抵抗装置を準備して下さい。



- ② 蓄電池端子のマイナス端子と蓄電池ユニットのマイナスを接続します。
- ③ 蓄電池端子のプラス端子と蓄電池ユニットのプラスを上記みのむしクリップ治具で接続して30秒待ちます。
- ④ 蓄電池端子のプラス端子と蓄電池ユニットのプラスを正規な接続を行います。  
上記みのむしクリップ治具で突入電流を防止しましたから大きなスパーク花火はなくなり怖くありません。
- ⑤ 最後にみのむしクリップ治具を取り外します。

出力周波数はあらかじめ設定します(運転中の切替えは故障の原因になります)  
リセットSWをオンにすると運転を開始します

#### (3) 電気製品接続

指定のコンセントに電気製品の差し込みを差し込んで使用して下さい  
差し込み口は2か所ありますが、合計電力が定格電力まで使用できます

文書識別番号	文書名 商品名称	納入仕様書 DC/AC インバーター	改定No. 頁	4/5
--------	-------------	-----------------------	------------	-----

6. 安全上の注意

- A、当装置及び接続される機器は完全シールドされたケースに収納されることを条件にしています従って接続機器(交流発電機及び配線ケーブル類)が屋外に露出する場合は、誘導雷、直撃雷で事故が予想されます、この事故に対しては保障範囲外であるため、充分な対策が必要です。避雷事故対策については工事仕様を含め別途ご相談に応じております。
- B、ケースカバーの分解は禁止しています絶対に分解しないでください、無理に分解したら内部結線が切断し壊れる構造です、どうしても分解する場合は弊社米子研究所で決まった手順でないとは分解できません。又、内部は高電圧が長時間残留していますから、非常に危険です(安全上、分解禁止の構造にしています)
- C、コードが焼損事故等で断線したら故障の原因となりますので確実な接続と余裕のある電線を使って下さい。
- D、機器間の接続は充分注意して下さい、極性の逆接続は故障や事故につながります。

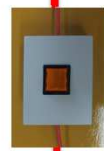
以下発電機を有する装置の場合の一般注意事項です

- E、指定発電機以外の発電機は使用出来ません。
- F、機器間の接続は発電機を停止させた状態で行ってください。高電圧は危険であり故障の原因となります。
- G、発電機の電圧上昇速度は規定の速度以下のスローアップ特性でおねがいします、直入は禁止です
- H、充電装置搭載の場合、満充電になると無負荷運転となり発電機の回転数が上昇して高電圧が発生し過電圧で機器故障になります。適切な疑似ロード又は機械的ブレーキが必要となります、その都度アドバイスさせて頂きます。
- I、風力発電装置の場合、暴風で羽根の分解や機器の破壊事故が発生します、装置に応じその都度アドバイスさせて頂きます。
- J、メンテナンスは必ず発電機を停止させ、発電していない状態をお願いします。

7. 接続方法(例)



蓄電池接続ボックス



AC100V 差込コンセント



蓄電池接続時に蓄電池接続ボックスを利用して下さい、接続時の突入電流によるスパーク火花を軽減し機器破壊を防止します

接続前はSWをオフとし、接続後SWをオンにします

